

<細胞像問題>

問題1 50歳代、女性。子宮体部腫瘤、捺印。

1. 結核
2. 非角化型扁平上皮癌
3. 類内膜癌 G3
4. 子宮内膜間質肉腫（低異型度）
5. 平滑筋肉腫

問題2 70歳代、女性。不正出血、子宮内膜吸引。

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 類内膜癌 G1
4. 類内膜癌 G3
5. 子宮内膜間質肉腫（低異型度）

問題3 60歳代、女性。卵巣腫瘤、大腸癌既往、捺印。

1. 顆粒膜細胞腫
2. 未熟奇形腫
3. 類内膜癌 G3
4. 高異型度漿液性癌
5. 転移性卵巣腫瘍（大腸癌の転移）

問題4 40歳代、女性。不正出血、子宮腔部擦過、ブラシ。

1. NILM（頸管腺細胞）
2. LSIL（CIN1）
3. HSIL（CIN3）
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 腺癌

問題5 60歳代、女性。子宮頸癌、放射線治療中、子宮腔部擦過、綿棒。

1. NILM（放射線性変化）
2. LSIL（CIN1）
3. HSIL（CIN3）
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 6 70 歳代、女性。外陰部搔痒感、外陰擦過、綿棒。

1. ヘルペス感染
2. VAIN2
3. 非角化型扁平上皮癌
4. 乳房外 Paget 病
5. 悪性黒色腫

問題 7 30 歳代、女性。検診、子宮腔部擦過、サイトピック。

1. NILM (化生細胞)
2. LSIL (CIN1)
3. HSIL (CIN3)
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 8 80 歳代、女性。不正出血、子宮内膜擦過、エンドサイト。

1. 類内膜癌 G1
2. 漿液性癌
3. 明細胞癌
4. 癌肉腫
5. 平滑筋肉腫

問題 9 40 歳代、女性。不正出血、子宮腔部擦過、ブラシ。

1. NILM (萎縮性腔炎)
2. LSIL (CIN1)
3. HSIL(CIN3)
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 10 80 歳代、女性。不正出血、腔擦過、綿棒。

1. 修復細胞
2. カンジダ感染
3. ヘルペス感染
4. VAIN2
5. 悪性黒色腫

問題 11 50 歳代、女性。胸部異常陰影、腫瘤捺印。

1. 硬化性肺胞上皮腫
2. カルチノイド腫瘍
3. 腺癌
4. 扁平上皮癌
5. 大細胞神経内分泌癌

問題 12 60 歳代、男性。咳嗽、気管支擦過。

1. 気管支肺炎
2. 異型扁平上皮細胞
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. リンパ腫

問題 13 40 歳代、女性。胸部異常陰影、縦隔リンパ節 EBUS-TBNA。

1. 類上皮細胞性肉芽腫
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. リンパ腫
5. 扁平上皮癌

問題 14 70 歳代、男性。血痰、喀痰。

1. カルチノイド腫瘍
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 扁平上皮癌
5. リンパ腫

問題 15 30 歳代、男性。精巣腫瘤、腫瘤捺印。

1. サルコイドーシス
2. 絨毛癌
3. セミノーマ
4. 卵黄囊腫瘍
5. セルトリ細胞腫

問題 16 70 歳代、男性。膀胱癌 TUR 後の経過観察、膀胱洗浄液。

1. ヘルペス感染
2. サルコイドーシス
3. 尿路上皮内癌
4. 低異型度尿路上皮癌
5. 高異型度尿路上皮癌

問題 17 60 歳代、男性。胆管癌疑い、胆汁。

1. 反応性上皮
2. 神経内分泌腫瘍
3. 粘液嚢胞性腫瘍
4. 腺癌
5. 扁平上皮癌

問題 18 60 歳代、女性。乳腺腫瘍、腫瘍穿刺吸引。

1. 乳腺炎
2. 線維腺腫
3. 粘液癌
4. 紡錘細胞癌
5. アポクリン癌

問題 19 30 歳代、女性。甲状腺腫瘍、腫瘍穿刺吸引。

1. 橋本病
2. 亜急性甲状腺炎
3. 腺腫様甲状腺腫
4. 乳頭癌
5. 髓様癌

問題 20 60 歳代、女性。右耳下部腫脹、穿刺吸引。

1. 放線菌症
2. 多形腺腫
3. ワルチン腫瘍
4. 未分化癌
5. MALT リンパ腫

問題 21 80 歳代、男性。進行性左片麻痺、右前頭葉および左肺に腫瘤、脳腫瘤捺印。

1. 乏突起膠腫
2. 異型髄膜腫
3. びまん性星細胞腫
4. 膠芽腫
5. 肺小細胞癌の転移

問題 22 80 歳代、女性。頸部リンパ節腫脹、リンパ節捺印。

1. 壊死性リンパ節炎
2. 転移性腺癌
3. 転移性小細胞癌
4. 転移性悪性黒色腫
5. びまん性大細胞性リンパ腫

問題 23 70 歳代、女性。腹部腫瘤、腹腔洗浄液。

1. 反応性中皮細胞
2. 異所性子宮内膜細胞
3. 卵巣カルチノイド腫瘍
4. 卵巣粘液性癌
5. 卵巣漿液性癌

問題 24 4 歳、男性。右膝痛、右大腿骨虫食い様不規則透亮像、生検組織捺印。

1. 骨髓炎
2. 骨肉腫
3. 軟骨肉腫
4. 類上皮肉腫
5. ユーイング肉腫

問題 25 50 歳代、男性。右耳下腺腫瘤、腫瘤穿刺吸引。

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 唾液腺導管癌

<筆記問題>

問題 26 日本臨床細胞学会認定施設に対する精度管理ガイドラインについて正しいのはどれか。

1. 細胞検査士の1日の検査検体数量は90枚までである。
2. 細胞診専門医は細胞診実施施設に常勤でなければならない。
3. 陰性標本の5%以上において細胞診でのダブルチェックを行う。
4. 日本臨床細胞学会の主催する外部精度管理プログラムに参加が必須である。
5. 臨床的に病名診断が求められる陰性症例は必ずしも細胞診専門医の判定はいらない。

問題 27 検体の採取と処理について正しいのはどれか。

1. 早朝尿は標本に適さない。
2. 胆汁は検体処理までの間室温下で保存する。
3. 体腔液は被検者の体位変換後の採取は望ましくない。
4. 穿刺吸引細胞診の穿刺針は通常14ゲージを使用する。
5. 穿刺吸引細胞診では注射器に陰圧をかけたまま穿刺部位より針を抜く。

問題 28 細胞診の染色について正しいのはどれか。

1. ギムザ染色では固定前の乾燥が必要でない。
2. ギムザ染色では細胞量により染色時間を調整する必要がある。
3. ギムザ染色ではパパニコロウ染色よりも細胞剥離が起こりやすい。
4. パパニコロウ染色は重積した細胞集団の観察に適さない。
5. パパニコロウ染色では固定前の乾燥で核クロマチンが明瞭となる。

問題 29 液状化検体細胞診法について誤っているのはどれか。

1. 遺伝子検索が容易である。
2. 吸引濾過法と重力沈降法がある。
3. 乾燥に伴う不適性標本を減少させる。
4. 均一に塗抹された標本が作製できない。
5. 固定液に細胞を浮遊させるため細胞形態に変化が生じる。

問題 30 検診について誤っているものはどれか。

1. 対策型検診は公的資金を使用する。
2. 対策型検診は公共的な医療サービスのひとつである。
3. 対策型検診では対象集団の死亡率を下げることはできない。
4. 任意型検診では当該検診による不利益について説明する必要がある。
5. 任意型検診は医療機関が任意で提供する医療サービスのひとつである。

問題 31 女性生殖器の発生について正しいのはどれか。

1. 子宮は内胚葉由来である。
2. 膣はウォルフ管から発生する。
3. 卵巣はウォルフ管から発生する。
4. 卵管はミュラー管から発生する。
5. ガートナー管はミュラー管から発生する。

問題 32 子宮内膜の細胞像について正しいのはどれか。

1. 増殖期では明るい細胞質を有する。
2. 分泌期内膜では核分裂像が目立つ。
3. 閉経期ではシート状の集塊を認める。
4. 明細胞癌では砂粒体が認められる。
5. 類内膜癌 G1 は G3 に比べ細胞の結合性が弱い。

問題 33 ベセスダ分類に関して正しいのはどれか。

1. 上皮内癌は SCC に含まれる。
2. AGC では HPV 検査が推奨される。
3. HPV 感染以外の炎症所見は NILM に含まれる。
4. ヘマトキシリン・エオジン染色により評価する。
5. ASC-US は全 ASC の 10%以下であることが期待される。

問題 34 悪性を示唆する所見として誤っているのはどれか。

1. 壊死性背景
2. 核縁の肥厚
3. 核小体の肥大
4. 核の大小不同
5. 炎症細胞の出現

問題 35 子宮頸部細胞診について正しいものはどれか。

1. 細胞採取器具は綿棒が推奨される。
2. 壊死性背景が認められれば悪性と判定する。
3. LSIL に対してコルポスコピー検査は不要である。
4. スライドガラスに塗抹後、十分乾燥させてから固定する。
5. 移行帯が観察できないときは頸管内から細胞採取を心がける。

問題 36 特定不能な異型内頸部細胞 (AGC-NOS) の所見として誤っているのはどれか。

1. N/C 比の増加
2. 核分裂像の増加
3. 明瞭な細胞境界
4. 3~5 倍の核腫大
5. 軽度のクロマチン増量

問題 37 肺腫瘍と細胞所見の組み合わせについて誤っているのはどれか。

1. 腺癌 - 偏在性核
2. 扁平上皮癌 - 流れ状配列
3. 小細胞癌 - 球状配列
4. 大細胞神経内分泌癌 - ロゼット配列
5. 肉腫様癌 - 多核巨細胞

問題 38 喀痰細胞診について正しいのはどれか。

1. 早朝起床時の喀痰を採取する。
2. 塗抹後は、乾燥させてから固定する。
3. 肺がん検診は、7 日間の蓄痰法で行う。
4. 肺末梢型早期肺癌の検出を目的として行う。
5. 喀痰細胞診は、室温で 48 時間以上たった検体でも可能である。

問題 39 肺腺癌で陽性率が高いマーカーはどれか。

1. p40
2. p63
3. TTF-1
4. NCAM (CD56)
5. Cytokeratin 20

問題 40 尿細胞診について正しいのはどれか。

1. デコイ細胞は抗酸菌感染細胞である。
2. 蓄尿での尿細胞診では細胞変性がみられる。
3. 自然尿ではカテーテル尿よりも、詳細な核所見が得られる。
4. 高悪性尿路上皮癌では核染が無構造化する。
5. パリシステムでは低異型度尿路上皮癌が診断の最たる対象疾患である。

問題 41 尿細胞診の感度が最も高いのはどれか。

1. 上皮内癌
2. 腎細胞癌
3. セミノーマ
4. 横紋筋肉腫
5. 低異型度尿路上皮癌

問題 42 超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA) について正しいものはどれか。

1. 膵管上皮内癌の診断に有効である。
2. 出血傾向のある症例の診断に適している。
3. 膵癌と腫瘤形成性膵炎の鑑別に有用である。
4. 充実性よりも嚢胞性病変の診断に適している。
5. 超音波内視鏡検査(EUS)のみで消化管粘膜下腫瘍の良悪性の鑑別が可能である。

問題 43 乳腺腫瘍の細胞像について正しいのはどれか。

1. 線維腺腫では背景に間質細胞がみられない。
2. 乳管内乳頭腫では腫瘍細胞が孤立性に出現する。
3. 管状癌は核異型性が強い。
4. 葉状腫瘍では上皮成分が欠如する。
5. 髄様癌では背景に著明なリンパ球浸潤を認める。

問題 44 甲状腺病変の細胞像として正しい組み合わせはどれか。

1. 亜急性甲状腺炎 — 多核巨細胞
2. 橋本病 — 好中球背景
3. 腺腫様甲状腺腫 — 砂粒小体
4. 乳頭癌 — アミロイド物質
5. 未分化癌 — 核内細胞質封入体

問題 45 体腔液細胞診について正しいのはどれか。

1. 中皮腫細胞は長い微絨毛が特徴的である。
2. 肺癌に対する ALK の遺伝子検査が可能である。
3. 中皮腫細胞はアルシアンブルー染色に陰性を示す。
4. 腹水中の腺癌は細胞間に”窓 window”を形成するのが特徴である。
5. 腺癌細胞のアルシアンブルー染色陽性物質はヒアルロニダーゼ処理で消失する。

選択問題 A

問題 46 子宮頸部腺癌について正しいのはどれか。

1. 漿液性癌が多い。
2. 背景はきれいである。
3. 線毛構造が見られる。
4. 羽毛状構造の細胞像を示す。
5. III期の5年生存率は2割程度である。

問題 47 卵巣腫瘍について正しいのはどれか。

1. ブレンナー腫瘍は性索間質性腫瘍である。
2. 高異型度漿液性癌の半数はI期で発見される。
3. 顆粒膜細胞腫ではコール・エクスナー小体を認める。
4. 輪状細管を伴う性索腫瘍では約30%がLynch症候群を伴う。
5. 卵黄嚢腫瘍は成熟した3胚葉由来の体細胞組織で構成される。

問題 48 HPVワクチンについて正しいのはどれか。

1. 定期接種からは除外された。
2. 男性に接種している国はない。
3. 接種により子宮頸がん患者の減少が期待される。
4. 接種後に運動機能の障害が発生する頻度が高い。
5. 接種歴が確認されれば子宮頸がん検診は不要である。

問題 49 子宮頸部上皮内癌の細胞像について正しいのはどれか。

1. 背景は壊死性である。
2. 無核の角化細胞が多数みられる。
3. 深層型の核異常細胞が主体となる。
4. 大きな核小体が高頻度に認められる。
5. 核/細胞質 (N/C) 比は80%以下である。

問題 50 性器感染症と細胞所見について正しい組み合わせはどれか。

1. 放線菌症 - 封入体
2. カンジダ症 - cannon ball
3. トリコモナス症 - 仮性菌糸
4. ヘルペス感染症 - koilocyte
5. ガードネレラ膣炎 - clue cell

選択問題 B

問題 51 微少浸潤性肺腺癌の判定基準について正しいのはどれか。

1. 粘液産生像がない。
2. 脈管侵襲像の有無は問わない。
3. 浸潤巣は最大径 5mm 以下である。
4. 微小乳頭状増生部分は浸潤成分には含まれない。
5. 腫瘍内に複数の浸潤巣がある場合、個々の最大径を合算して大きさを評価する。

問題 52 乳腺穿刺吸引細胞診について正しいのはどれか。

1. アポクリン癌は細胞質に乏しい。
2. 背景に粘液がみられたら悪性である。
3. 筋上皮細胞がみられなければ悪性である。
4. 悪性葉状腫瘍では間質成分が採取されやすい。
5. 乳管内乳頭腫では腫瘍細胞の核クロマチンは増量する。

問題 53 小脳橋角部に好発する腫瘍はどれか。

1. 奇形腫
2. 上衣腫
3. 神経鞘腫
4. 頭蓋咽頭腫
5. 悪性リンパ腫

問題 54 リンパ節病変の診断で CD30 免疫染色が有用な疾患はどれか。

1. サルコイドーシス
2. 乳癌の転移
3. ホジキンリンパ腫
4. NK/T 細胞性リンパ腫
5. 末梢性 T 細胞性リンパ腫

問題 55 骨・軟部腫瘍細胞診について誤っているものを選べ。

1. 骨化性筋炎では骨芽細胞が出現する。
2. 軟骨芽細胞腫では、破骨型巨細胞が出現する。
3. 腱鞘巨細胞腫ではラングハンス型巨細胞が出現する。
4. 横紋筋肉腫は小円形細胞の増殖からなる。
5. 粘液性脂肪肉腫では分枝する血管網を認める。

選択問題 C

問題 56 顎放線菌症の細胞診断に有用な所見はどれか。

1. 菌塊
2. 仮性菌糸
3. 核相互圧排像
4. 細胞質内封入体
5. コイロサイトーシス

問題 57 Papanicolaou 染色で、最初に使用する染色液はどれか。

1. OG-6
2. EA-50
3. ヘマトキシリン
4. メチルグリーン
5. アルシアンブルー

問題 58 角化細胞の出現が乏しい正常部位はどれか。

1. 口底
2. 歯肉
3. 舌縁
4. 舌背
5. 硬口蓋

問題 59 直接塗抹標本と比較し、液状化検体細胞診で認められる特徴はどれか。

1. 乾燥傾向が目立つ
2. 細胞回収率が悪い
3. 塗抹は均一である
4. 背景の情報が多い
5. 不適正標本が多い

問題 60 多形腺腫の細胞所見で誤っているものはどれか。

1. 粘液腫様背景
2. 形質細胞様細胞
3. 二層性腺管構造
4. リンパ球性背景
5. シート状細胞集塊

<検鏡問題>

総合科

標本番号 1

30 歳代・女性 検診 子宮腔頸部 サイトピック

問題 1 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 推定診断として最も適切なのはどれか

1. LSIL/CIN1
2. HSIL/CIN3
3. 上皮内腺癌
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

標本番号 2

60 歳代・女性（子宮頸癌既往） 腹水貯留 腹水穿刺

問題 3 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 4 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 反応性中皮細胞
2. 異所性子宮内膜細胞
3. 悪性中皮腫
4. 粘液性癌（子宮頸癌の進展）
5. 扁平上皮癌（子宮頸癌の進展）

標本番号 3

80 歳代・女性 検診 子宮腔頸部 サイトピック

問題 5 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 6 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（カンジダ感染）
2. NILM（トリコモナス感染）
3. LSIL/CIN1
4. HSIL/CIN3
5. 角化型扁平上皮癌

標本番号 4

40 歳代・女性 検診 子宮腔頸部 ブラシ

問題 7 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 8 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（カンジダ膺炎）
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

標本番号 5

50 歳代・女性 不正性器出血 子宮内膜 エンドサーチ

問題 9 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 10 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 萎縮内膜
2. 慢性内膜炎
3. 子宮内膜増殖症
4. 類内膜癌 G1
5. 高異型度子宮内膜間質肉腫

標本番号 6

50 歳代・女性 不正性器出血 子宮内膜 吸引

問題 11 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 12 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 子宮内膜増殖症
4. 類内膜癌 G1
5. 漿液性癌

標本番号 7

40 歳代・女性 検診 子宮腔頸部 サイトピック

問題 1 3 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 1 4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（慢性頸管炎）
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

標本番号 8

40 歳代・女性 子宮頸部腫瘍 子宮腔頸部 綿棒

問題 1 5 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 1 6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（慢性頸管炎）
2. HSIL/CIN3
3. 非角化型扁平上皮癌
4. 通常型内頸部腺癌
5. 小細胞癌

標本番号 9

70 歳代・女性 不正性器出血 子宮腔頸部 綿棒

問題 1 7 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 1 8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（トリコモナス腔炎）
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 角化型扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

標本番号 10

40 歳代・女性 月経不順 子宮内膜 吸引

問題 19 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 20 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 子宮内膜増殖症
4. 子宮内膜異型増殖症
5. 類内膜癌 G1

標本番号 11

70 歳代・男 胸部異常陰影 肺 穿刺吸引

問題 21 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 22 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 反応性気管支上皮細胞
2. 扁平上皮癌
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. 悪性黒色腫

標本番号 12

60 歳代・男 血痰 喀痰吸引

問題 23 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 24 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 反応性気管支上皮細胞
2. 扁平上皮化生
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. 小細胞癌

標本番号 13

60 歳代・男 血痰 喀痰吸引

問題 2 5 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 硬化性肺胞上皮腫
2. カルチノイド腫瘍
3. 扁平上皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 大細胞神経内分泌癌

標本番号 14

60 歳代・男 血尿精査 自然尿

問題 2 7 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 反応性尿路上皮
2. 膀胱結核
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. 尿路上皮癌

標本番号 15

40 歳代・女 膵腫瘤 膵液

問題 2 9 細胞所見として適切なものはどれか

1. 腫瘍性背景
2. 高度な核異型
3. 腫瘍細胞の平面的な配列

問題 3 0 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 粘液性嚢胞腺腫
2. 浸潤性膵管癌
3. 腺扁平上皮癌
4. 腺房細胞癌
5. 平滑筋肉腫

標本番号 16

60 歳代・女 乳腺腫瘤 穿刺吸引

問題 3 1 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 3 2 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 乳腺炎
2. 乳管内乳頭腫
3. 粘液癌
4. 浸潤性小葉癌
5. 浸潤性乳管癌

標本番号 17

50 歳代・男 甲状腺腫瘤 穿刺吸引

問題 3 3 細胞所見として適切なのはどれか

1. 核内封入体
2. 異型リンパ球
3. アミロイドの沈着

問題 3 4 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 亜急性甲状腺炎
2. 慢性甲状腺炎
3. 濾胞性腫瘍
4. 乳頭癌
5. 髄様癌

標本番号 18

80 歳代・女 視野障害 鞍上部腫瘍圧挫

問題 3 5 細胞所見として適切なのはどれか

1. 空胞細胞
2. 壊死性背景
3. ロゼット配列

問題 3 6 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 正常下垂体前葉細胞
2. 下垂体腺腫
3. 頭蓋咽頭腫
4. 星細胞腫
5. 悪性リンパ腫

標本番号 19

70 歳代・女 腹腔内リンパ節腫大 リンパ節捺印

問題 3 7 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 3 8 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 皮膚リンパ節炎
2. 壊死性組織球性リンパ節炎(菊池病)
3. びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫
4. 腺癌の転移
5. 小細胞癌の転移

標本番号 20

60 歳代・男 呼吸困難 胸水穿刺吸引

問題 3 9 細胞診判定はどれか

1. 良性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 4 0 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 反応性中皮
2. 肺結核
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. 悪性中皮腫

歯科

標本番号 1

50 歳代・男性 顎骨腫脹 穿刺吸引

問題 1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 歯根嚢胞
2. 顎放線菌症
3. 歯原性角化嚢胞（角化嚢胞性歯原性腫瘍）
4. エナメル上皮腫
5. 原発性骨内癌

標本番号 2

50 歳代・男性 頬粘膜白斑 ブラシ擦過

問題 3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（カンジダ症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 3

問題 5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺房細胞癌
5. 腺様嚢胞癌

標本番号 4

問題 7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（歯周炎）
2. NILM（カンジダ症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 5

80 歳代・女性 歯肉腫脹 ブラシ擦過

問題 9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 10 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（歯周炎）
2. NILM（ヘルペスウイルス感染）
3. 粘表皮癌
4. 悪性リンパ腫
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 6

50 歳代・女性 頬粘膜の違和感 ブラシ擦過

問題 11 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 12 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（カンジダ症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 7

70 歳代・女性 耳下腺部腫脹 穿刺吸引

問題 13 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 14 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺房細胞癌
5. 腺様嚢胞癌

標本番号 8

50 歳代・男性 舌びらん ブラシ擦過

問題 1 5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 1 6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. NILM（ヘルペスウイルス感染）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 9

20 歳代・男性 顎骨腫脹 腫瘤捺印

問題 1 7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 1 8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 歯根嚢胞
2. 歯原性角化嚢胞（角化嚢胞性歯原性腫瘍）
3. エナメル上皮腫
4. 原発性骨内癌
5. 転移性腺癌

標本番号 10

80 歳代・女性 歯肉のびらん ブラシ擦過

問題 1 9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 0 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. NILM（ヘルペスウイルス感染）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 11

80 歳代・男性 リンパ節腫脹 穿刺吸引

問題 2 1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 2 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 結核性リンパ節炎
2. 壊死性リンパ節炎
3. 悪性リンパ腫
4. 転移性腫瘍（腺癌）
5. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）

標本番号 12

50 歳代・女性 歯肉のびらん ブラシ擦過

問題 2 3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. NILM（ヘルペスウイルス感染）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）